

# 「さがみロボット産業特区」における自動運転の実証実験 (平成25年度～平成29年度実施)

## 特区の主な目標

本特区では、超高齢社会の到来による高齢者の移送手段の確保の必要性から、特区の取組開始時（H25年度）より、自動運転に関する実証実験を全国に先駆けて取り組んできた。

## 主な実証実験

- 日本初、高速道での自動運転の実証（H25年度）



- 自動運転を活用したサービス（タクシー）の実証（H27年度）



- プレ実証フィールドで実施した遠隔監視・操作デモの各省庁視察（H28年度）



- 来るべき自動運転社会を見据えた次世代物流プロジェクト（ロボネコヤマト）の実証（H29年度）



- 自動運転を活用したサービス（バス）の実証（H29年度）



- 自動運転を活用した新たな交通サービス「Easy Ride」の実証（H29年度）



## 特区における効果

- ・ 本特区の取組により、自動運転技術の実用化が進展するだけでなく、その先にある自動運転を活用したサービス創出についても、特区内のみならず、全国に向けて発信することができた。
- ・ 本特区での実証実験の結果を参考に、国が遠隔型自動運転システムを用いた公道実証実験の基準策定を行った。